

AIツールを組み合わせたWebアプリケーション開発

AIツール活用。コード編集なし。Webアプリ制作・動作確認手順。



【前提と意義】

- ✓ Googleアカウント
- ✓ Webブラウザ基本操作

【意義】 💡 プログラミング未経験でもWebアプリを形にできる体験。

詳しくは <https://www.kkaneko.jp/cc/aidev.html>

はじめに

開発のコンセプト

1



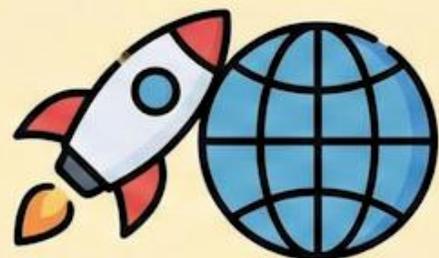
プログラミング不要：
HTML、CSS、JSの
知識がなくてもWebア
プリを制作可能

2



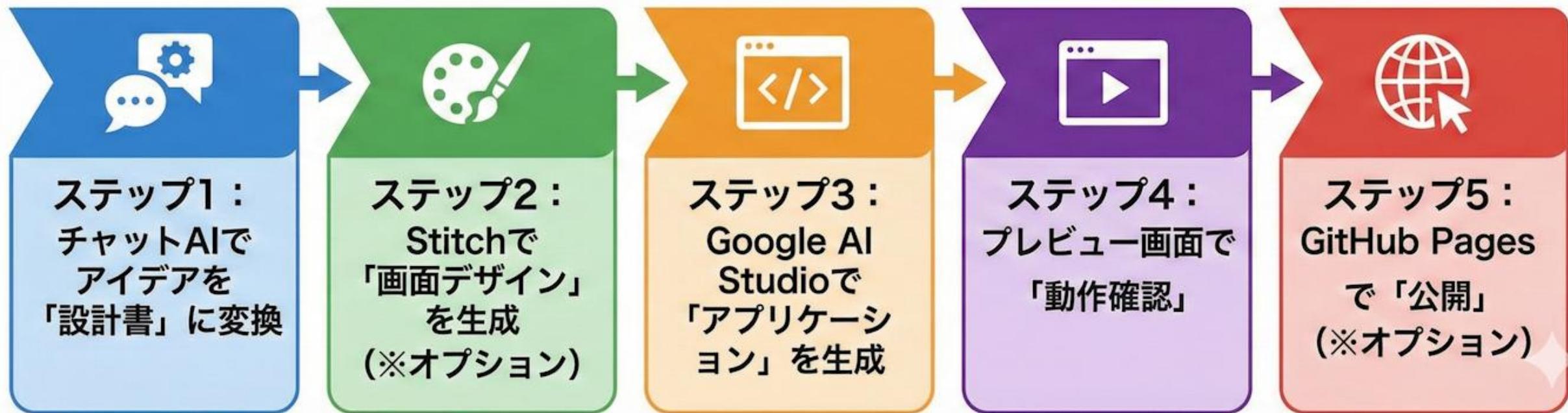
自然言語で指示：
アイデアを言葉にする
だけでAIがコードを生
成

3

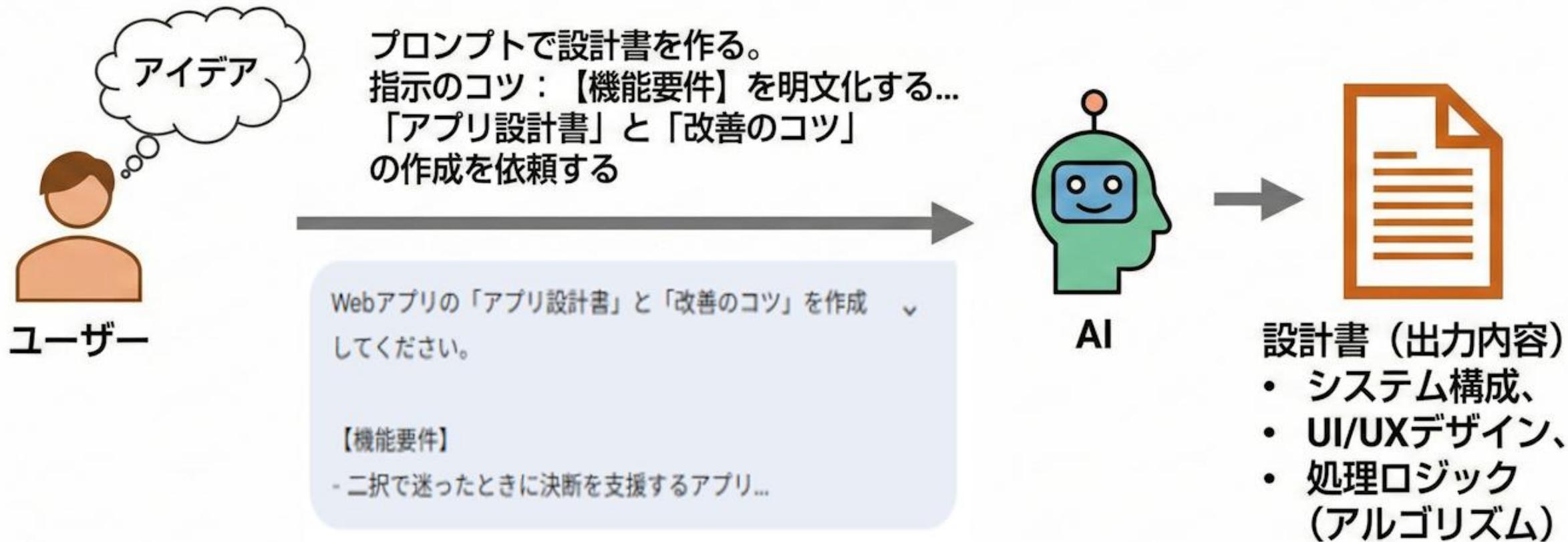


制作から公開まで：
動作確認だけでなく、
インターネットへの
公開手順も網羅

開発の全体像 (5ステップ)



ステップ1：アイデアの言語化



ステップ2：デザインの生成（オプション）

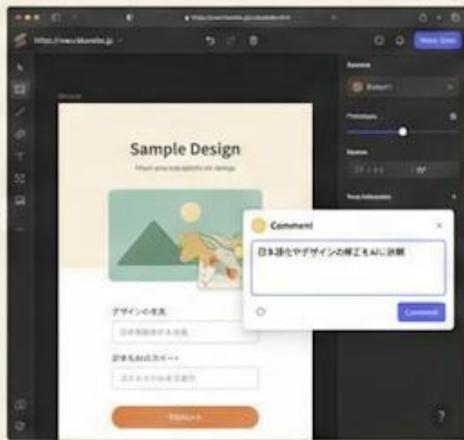
Stitch(ステッチ)の活用



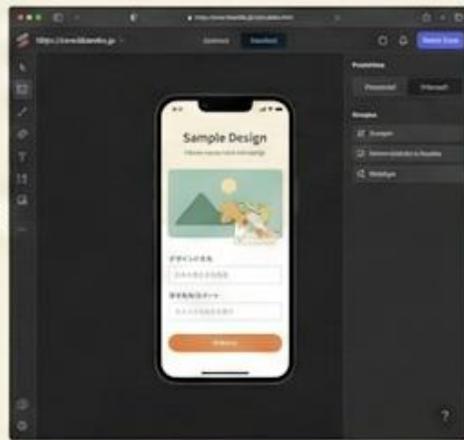
設計書



ステップ1の設計書を
貼り付けて生成



日本語化やデザインの
修正をAIに依頼



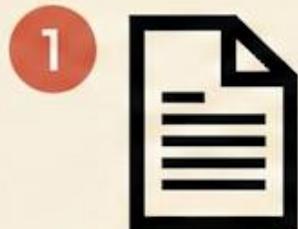
「Interact」モードで
基本操作を確認



ゴール：視覚的な
完成イメージを固める

ステップ3：アプリの生成

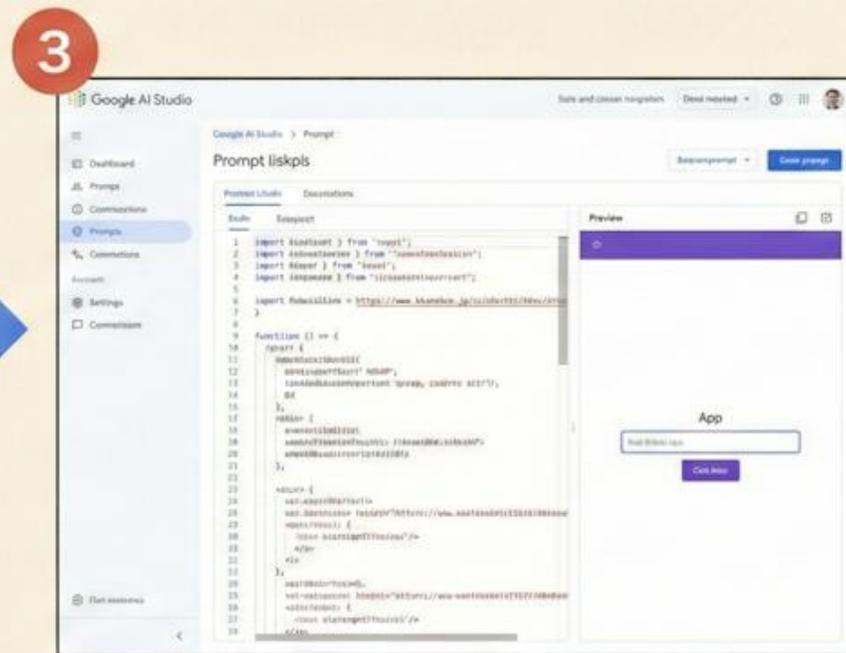
Google AI Studioによる構築



1
設計書（または
Stitchからのエク
スポート内容）

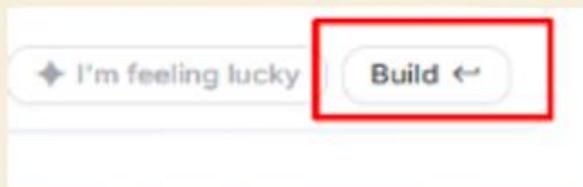


2
設計書を貼り付ける



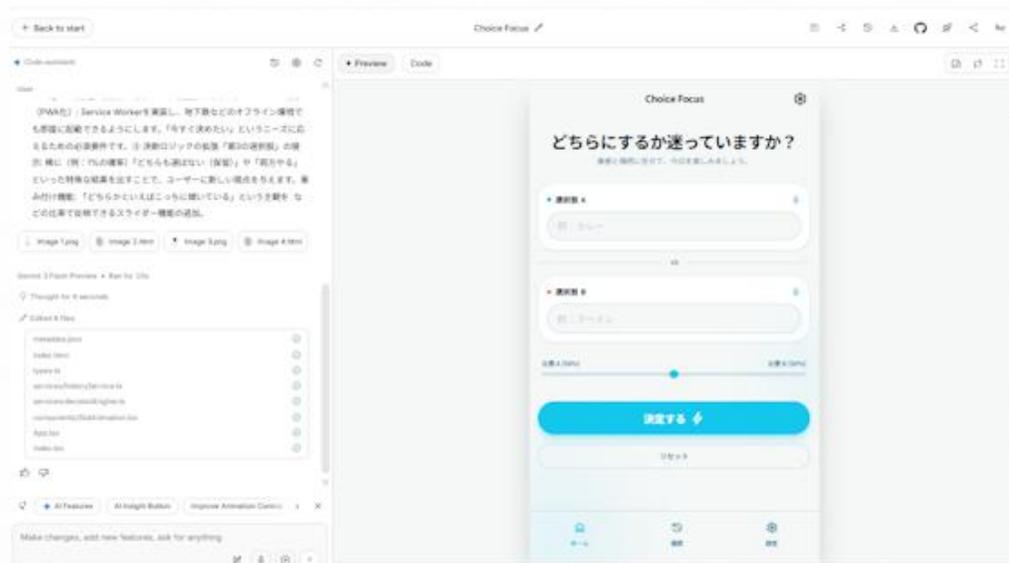
<https://www.kkaneko.jp/cc/dev/aidev.html>

結果：AIがReact等の最新技術を用いてコードを自動生成し、即座に画面が表示される



「Build」ボタンをクリック

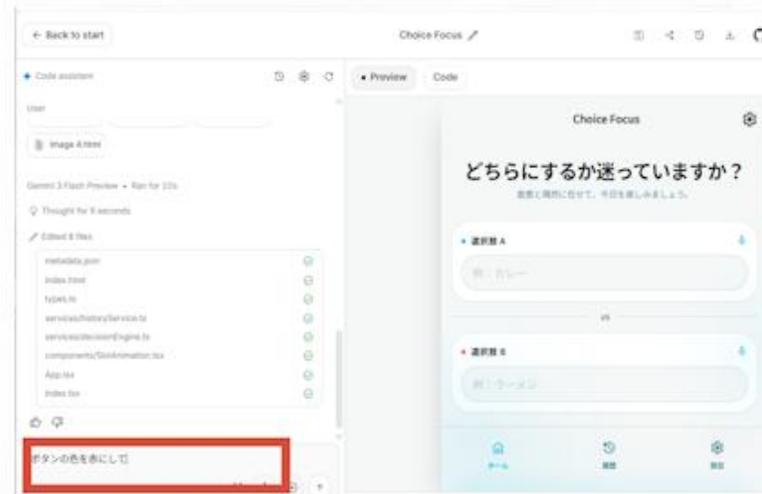
ステップ4：動作確認とブラッシュアップ



プレビューと修正：
実際に値を入力し、
期待通りの挙動をするか確認

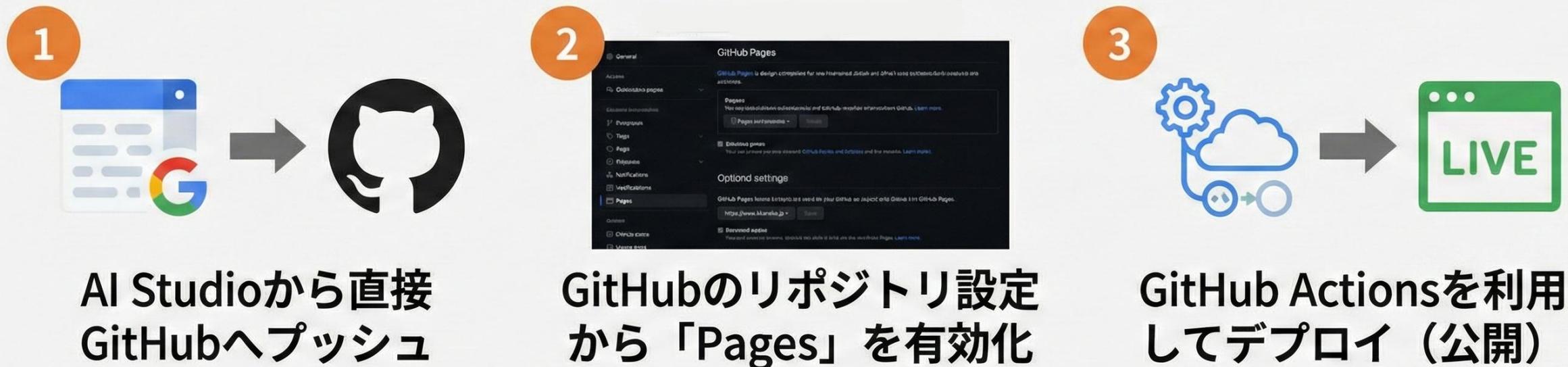
AIとの対話を繰り返すことで、
より理想に近いアプリへ仕上げる

対話形式の修正指示：
「ボタンの色を変えて」
「アニメーションを追加して」
「文字を大きくして」



ステップ5：Webへの公開（オプション）

GitHub Pagesでのホスティング



☑️ **メリット：無料で自分のURLを持ち、世界中に公開できる**

まとめ・応用

さらなるステップへ

1



汎用性：同じ手順でミニゲーム（数字当て、モグラ叩き等）も制作可能

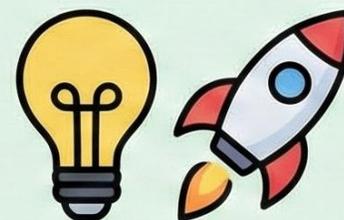


2



学びの入口：AIが生成したコードを読むことで、実際のプログラミング学習のきっかけにもなる

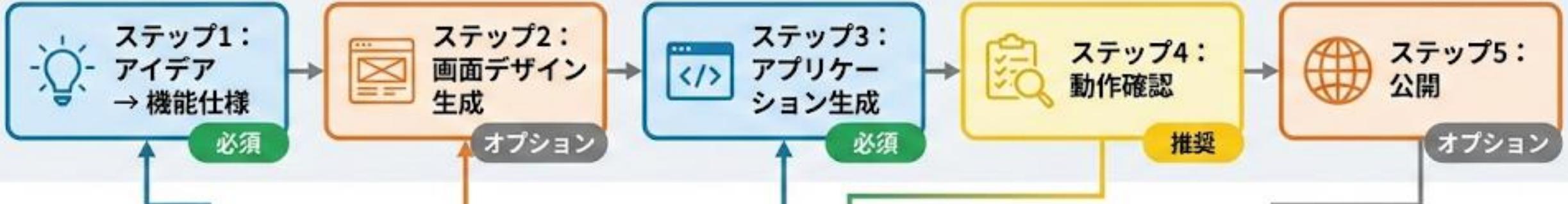
3



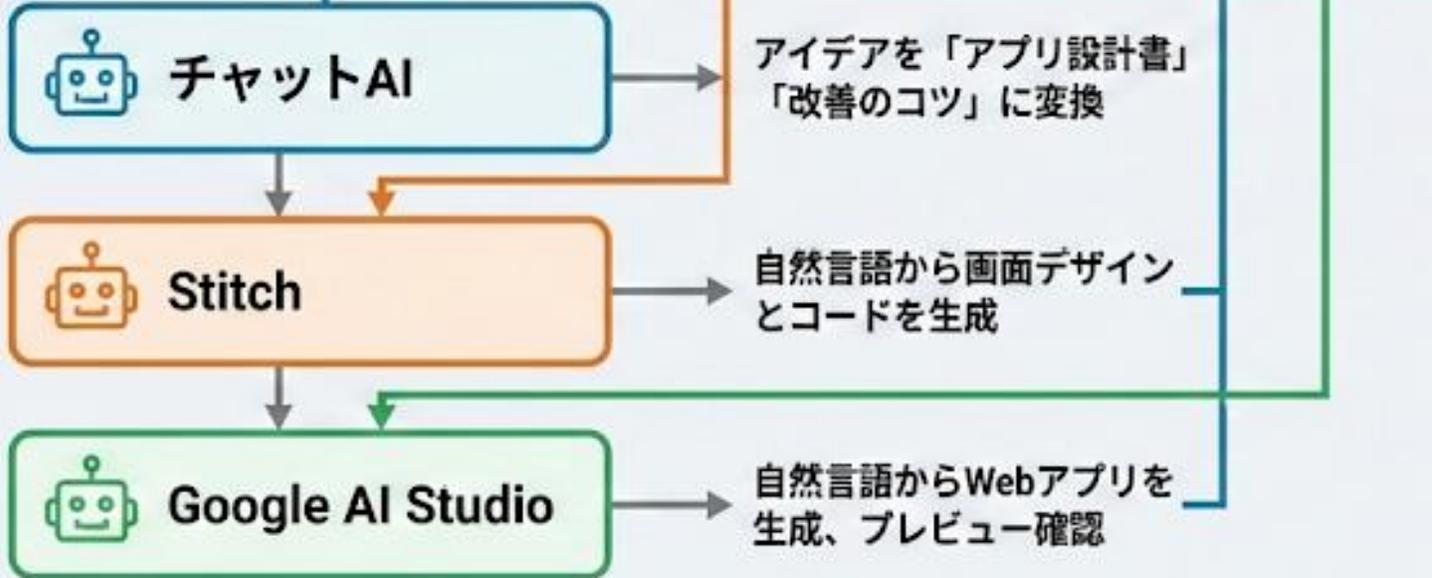
結論：AIツールを使い分けることで、技術的な壁を超えて「作りたいもの」をすぐに実現できる時代になった

まとめ：AIツール活用Webアプリ開発

開発フロー（5ステップ）



使用ツール



公開環境

